

ライオンケミカル株式会社 ファインケミカル事業所

今日を愛する。
LION

安全衛生活動



2020年10月15日

事業所の概要

- ・ 1971年 1月 前身の「四日市合成(株) 鹿島工場」発足
- ・ 1982年11月 「**ライオン化学株式会社**」設立
- ・ 2003年12月 ライオンオレオケミカル株式会社と統合
「**ライオンケミカル株式会社**」に社名を変更。それに伴い
「**ファインケミカル事業所**」となり現在に至る
- ・ 所在地 茨城県神栖市東和田 2 2 番地（鹿島臨海工業地帯 東部地区コンビナート）
- ・ 事業内容 ライオン製品用原料及び
外販化学品類の生産
- ・ 生産品目 非イオン界面活性剤
脂肪酸エステル
合成潤滑油
家庭用洗浄剤原料
工業用洗浄剤 等



安全操業の維持継続（社会的信頼）が企業活動の基盤

【目指す姿】 ▼ライオングループ トップの安全事業所

▼コンビナートや地元地域に認められる安全企業

【基本思想】 確実なマネジメントシステム運用とP D C A管理による事故災害の未然防止

【事業所の特色】

■物質安全／

多量の高圧ガス・危険物を取扱う化学工場
高温高圧の反応工程

■労働安全／

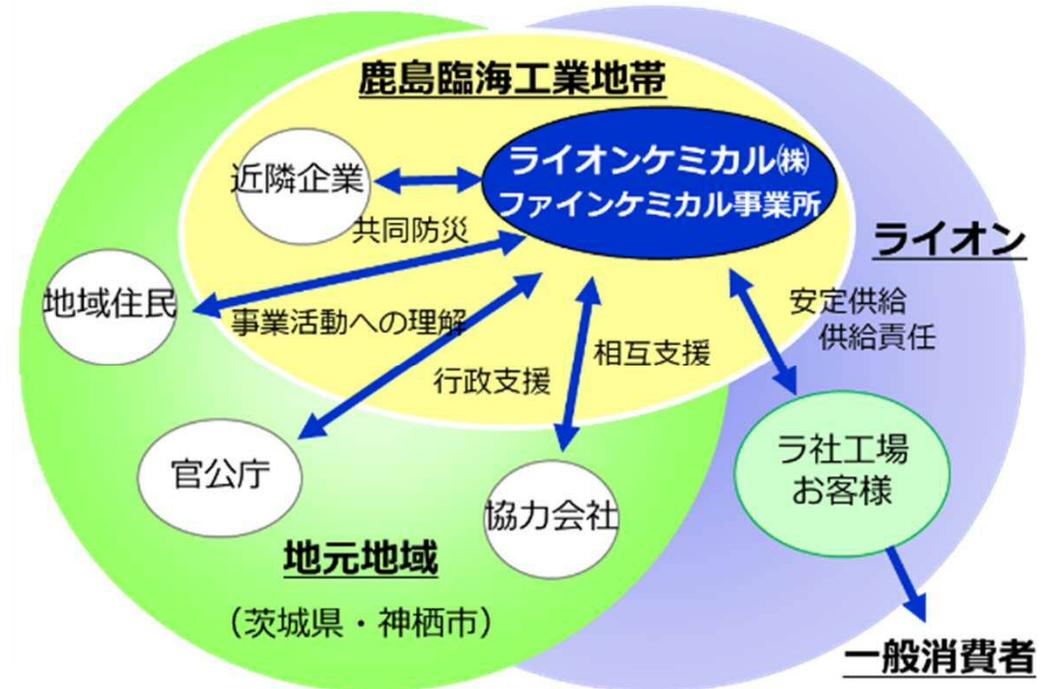
多種化学物質を手作業で取り扱うことが多い

■設備安全／

反応プロセスの安全確保と老朽化への対応

■地域防災／

自然災害（地震・台風等）の被災経験
近隣各社との共同防災体制

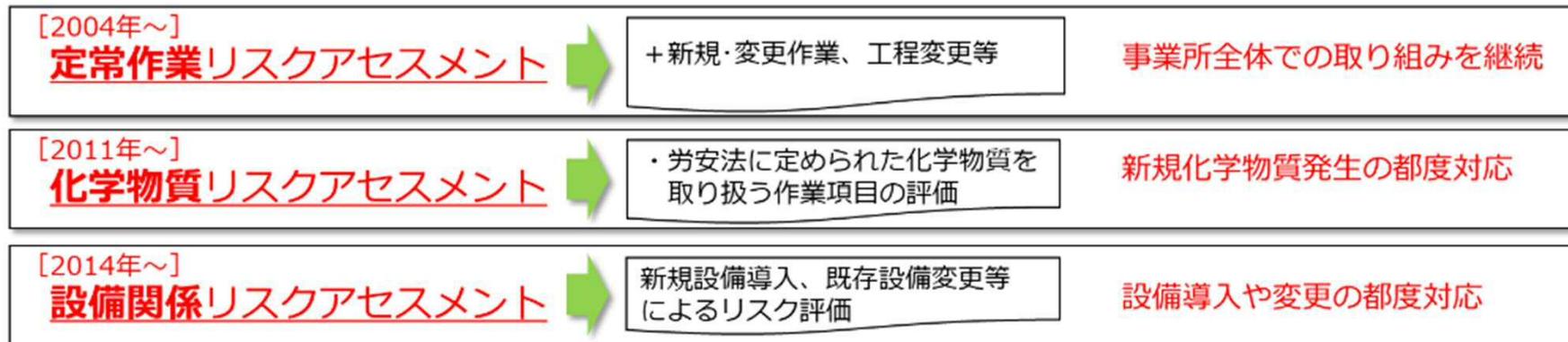


安全衛生管理は、トラブル未然防止を基本とし、
課題の改善計画を展開
安全衛生防災**マネジメントシステムを主幹**に
工夫・改善を加えながら
“PDCAサイクル”を廻して安全衛生活動を展開



安全活動：リスクアセスメント

- ◆事業所の安全確保のため、2004年に「**危険有害要因特定要領**」を定め、リスク評価による危険抽出と改善を繰り返し実施してきた。



【リスク評価の流れ】

- ①作業洗出
- ②危険有害要因特定
- ③リスク評価
(頻度・可能性・重大性)
- ④リスク評価集計



◆**一覧表による一元管理**

作業項目	リスク	対策	実施状況	評価	備考
...

*作業項目棚卸：1回/年

安全活動：リスクアセスメント

リスク評価結果から**高リスク作業の低減措置**を継続的に実施（設備計画への反映、作業の抜本的見直し）

車両上部からの転落リスク



安全帯取付用の支柱設置

手動充填時の被液リスク



自動充填機の導入

リフトの横転リスク

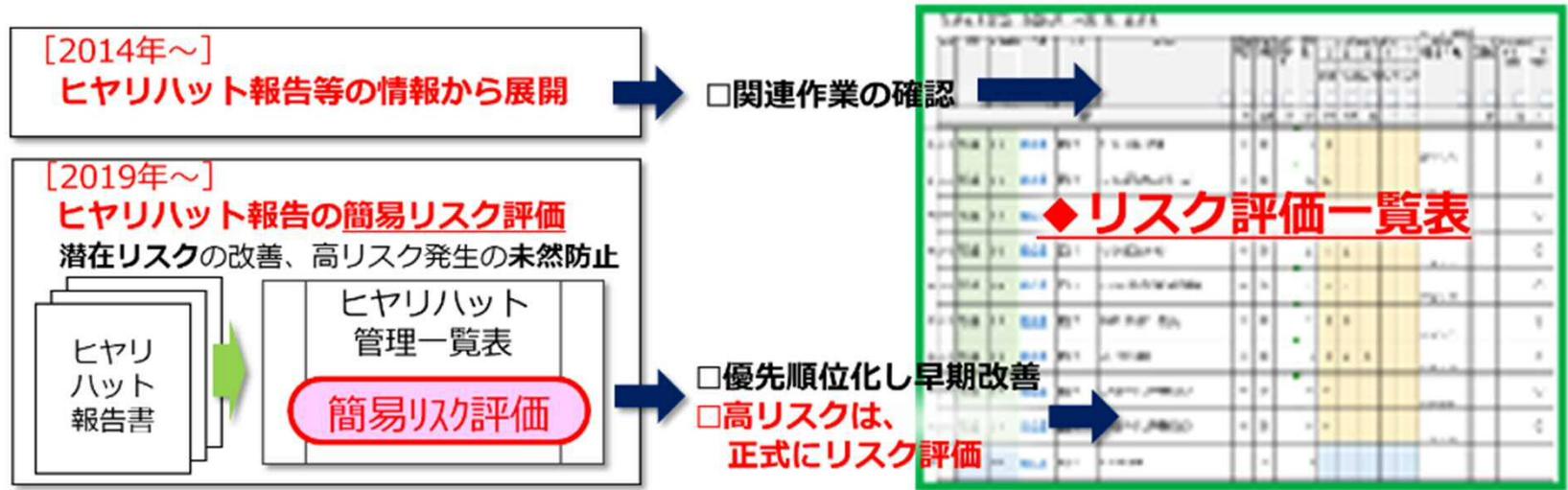


払出方法変更

低リスク作業の
更なるリスク低減

+

残留リスク対策の
維持管理状況確認



安全活動：ヒヤリハット

報告に対する

- ・ 上長からの労い（有り難う）
- ・ 確実なフォロー
- ・ 情報共有化

ヒヤリハット管理一覧表

ヒヤリハット報告書

報告者: [] 報告日: [] 報告時間: []

報告内容: []

状況説明 

自己解析 

提案、対応のコメント

上長コメント欄

フィードバック確認

No.	発生場所	発生時刻	発生状況	発生原因	発生場所写真	発生状況		発生原因		発生場所	発生時刻	発生状況	発生原因	発生場所写真
						発生状況	発生原因	発生状況	発生原因					
001	2023/10/10	08:00	作業中、足場から落下	足場の設置が不十分		発生状況	発生原因	発生状況	発生原因	発生場所	発生時刻	発生状況	発生原因	発生場所写真
002	2023/10/10	09:30	作業中、工具の落下	工具の持ち方が不適切		発生状況	発生原因	発生状況	発生原因	発生場所	発生時刻	発生状況	発生原因	発生場所写真
003	2023/10/10	10:15	作業中、物の落下	物の積み重ねが不適切		発生状況	発生原因	発生状況	発生原因	発生場所	発生時刻	発生状況	発生原因	発生場所写真
004	2023/10/10	11:00	作業中、足場の崩壊	足場の設置が不適切		発生状況	発生原因	発生状況	発生原因	発生場所	発生時刻	発生状況	発生原因	発生場所写真
005	2023/10/10	12:30	作業中、工具の落下	工具の持ち方が不適切		発生状況	発生原因	発生状況	発生原因	発生場所	発生時刻	発生状況	発生原因	発生場所写真
006	2023/10/10	13:15	作業中、物の落下	物の積み重ねが不適切		発生状況	発生原因	発生状況	発生原因	発生場所	発生時刻	発生状況	発生原因	発生場所写真
007	2023/10/10	14:00	作業中、足場の崩壊	足場の設置が不適切		発生状況	発生原因	発生状況	発生原因	発生場所	発生時刻	発生状況	発生原因	発生場所写真

★簡易リスク評価で
リスクレベルを把握

高リスクは
リスクアセスメントへ

安全活動：ヒヤリハット

【今後の展開】蓄積データの活用…「新規ヒヤリマップ」「傾向解析」

いつ	誰が	場所	発生日	どうした	写真/図	危険有害要因の除去又は危険度の軽減	発生ヒヤリハット数				対応状況	対応内容(内容)	評価			
							発生	発見	報告	対策						
7/21	本人	工場内作業	作業時	作業中作業機が動いて、足元を踏んで怪我の恐れがあった。		作業機が動いてしまっただけで怪我はなかったが、足元を踏んでしまっただけで怪我の恐れがあった。作業機が動いてしまっただけで怪我の恐れがあった。	高評価	4	2	1	3	0	対策	作業機が動いてしまっただけで怪我の恐れがあった。作業機が動いてしまっただけで怪我の恐れがあった。	高	
7/24	本人	工場内作業	作業時	作業中作業機が動いて、足元を踏んで怪我の恐れがあった。		作業機が動いてしまっただけで怪我はなかったが、足元を踏んでしまっただけで怪我の恐れがあった。作業機が動いてしまっただけで怪我の恐れがあった。	高評価	4	2	3	1	0	対策	作業機が動いてしまっただけで怪我の恐れがあった。作業機が動いてしまっただけで怪我の恐れがあった。	高	
7/25	本人	工場内作業	作業時	作業中作業機が動いて、足元を踏んで怪我の恐れがあった。		作業機が動いてしまっただけで怪我はなかったが、足元を踏んでしまっただけで怪我の恐れがあった。作業機が動いてしまっただけで怪我の恐れがあった。	高評価	4	1	1	1	1	0	対策	作業機が動いてしまっただけで怪我の恐れがあった。作業機が動いてしまっただけで怪我の恐れがあった。	高
7/26	本人	工場内作業	作業時	作業中作業機が動いて、足元を踏んで怪我の恐れがあった。		作業機が動いてしまっただけで怪我はなかったが、足元を踏んでしまっただけで怪我の恐れがあった。作業機が動いてしまっただけで怪我の恐れがあった。	高評価	2	2	1	1	1	0	その他	作業機が動いてしまっただけで怪我の恐れがあった。作業機が動いてしまっただけで怪我の恐れがあった。	高
7/27	本人	工場内作業	作業時	作業中作業機が動いて、足元を踏んで怪我の恐れがあった。		作業機が動いてしまっただけで怪我はなかったが、足元を踏んでしまっただけで怪我の恐れがあった。作業機が動いてしまっただけで怪我の恐れがあった。	高評価	2	2	1	1	1	0	対策	作業機が動いてしまっただけで怪我の恐れがあった。作業機が動いてしまっただけで怪我の恐れがあった。	高
7/28	本人	工場内作業	作業時	作業中作業機が動いて、足元を踏んで怪我の恐れがあった。		作業機が動いてしまっただけで怪我はなかったが、足元を踏んでしまっただけで怪我の恐れがあった。作業機が動いてしまっただけで怪我の恐れがあった。	高評価	2	2	1	1	1	0	その他	作業機が動いてしまっただけで怪我の恐れがあった。作業機が動いてしまっただけで怪我の恐れがあった。	高
7/29	本人	工場内作業	作業時	作業中作業機が動いて、足元を踏んで怪我の恐れがあった。		作業機が動いてしまっただけで怪我はなかったが、足元を踏んでしまっただけで怪我の恐れがあった。作業機が動いてしまっただけで怪我の恐れがあった。	高評価	4	2	3	1	0	対策	作業機が動いてしまっただけで怪我の恐れがあった。作業機が動いてしまっただけで怪我の恐れがあった。	高	
7/30	本人	工場内作業	作業時	作業中作業機が動いて、足元を踏んで怪我の恐れがあった。		作業機が動いてしまっただけで怪我はなかったが、足元を踏んでしまっただけで怪我の恐れがあった。作業機が動いてしまっただけで怪我の恐れがあった。	高評価	4	2	1	3	0	対策	作業機が動いてしまっただけで怪我の恐れがあった。作業機が動いてしまっただけで怪我の恐れがあった。	高	

- 発生場所 **データベース化**
- 発生時間帯
- 事故想定および分類
- 4M分析 (人・もの・方法・管理)
- その他

**傾向解析
施策立案・実施**



安全活動：危険エリア設定と保護メガネの着用義務化

(1) 背景

- ・作業時の保護メガネ着用はマニュアル化されているが、着用タイミングが本人判断
- ・作業者の身体保護と体質化のため、**危険エリア内での保護メガネ等の着用を義務化**

(2) 危険エリア設定

原料製品等の実液を取り扱う作業 **【サフリング作業・抜缶充填作業・ルビース脱着作業】**に限定し、その作業箇所を**包含する範囲**を**危険エリア (=裸眼禁止エリア)**とする。



- ◆ 急遽、危険エリアへ侵入する場合は、シールドを使用
- ◆ 有事の緊急避難の際、顔の防護に有効

【従来のヘルメット】



+保護メガネ
+ゴーグル
+面体

【シールド付きヘルメット】



+保護メガネ
+ゴーグル
+面体
+シールド

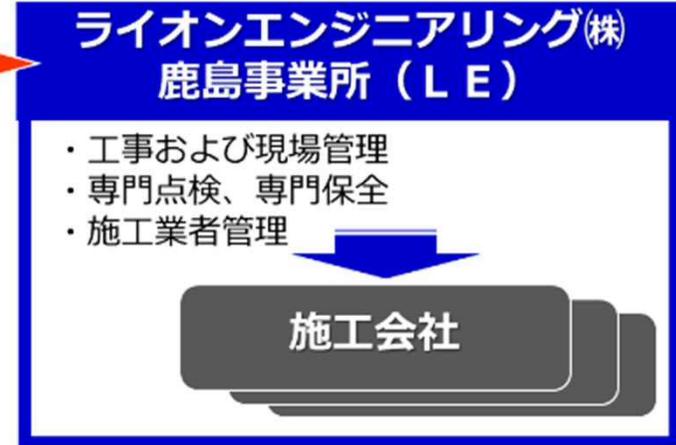
仕様変更

安全活動：工事安全と設備安全

【設備安全】



【工事安全】



【定常生産時】

- ◆ 情報共有

【工事期間および定期修理期間】

- ◆ 着工前の確認強化
- ◆ 工事立ち合いの強化
「事業所・LE・施工会社」
- ◆ 日々の工程進捗の共有化

◆ 健康で快適な就業環境を従業員へ提供するために

□ 熱中症対策

- ◇送風機、扇風機、送風ダクト設置など
- ◇休憩場所の確保（現場設置）
- ◇ウォーターサーバーと塩飴の設置
- ◇始業前と作業中の顔色チェック、声掛け



□ 転倒防止や軽微なケガの予防

- ◇朝の体操（ストレッチ体操含む）
- ◇転倒防止セミナー等の企画推進（部会ボトムアップ活動）
- ◇各課朝礼時の啓蒙・安全瞑想・安全唱和
- ◇保護具等の管理徹底（点検ルーティン）



□ 就業環境の改善ほか

- ◇ノー残業Day & Week
- ◇計画休暇取得推進
- ◇有休取得促進日設定
- ◇感染症予防対応



まとめ

- ◆当社F C事業所の安全衛生活動は、マネジメントシステムを基本としたP D C A管理が主幹（トップダウンとボトムアップの融合、従業員の意見反映）
- ◆一般的な安全手法に取り組みながら改善を重ね、日々の“無事故・無災害”を積み上げ、休業災害ゼロを無事28年経過することができました。



これからも無事故無災害を継続するために
全従業員の協力のもと、様々な変化に対応しながら、着実な安全活動に取り組みます。



今日を愛する。

LION